

運用報告書 (全体版)

世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2020年3月27日から2030年7月11日までです。
運用方針	外国投資信託証券への投資を通じて得られる収益の獲得および外国投資信託における毎月の分配実施 ^① による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。 ※実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。
主要投資対象	「One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド (以下、「バランス・ファンド」といいます。)」円建受益証券と「ID AMマネーマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
運用方法	バランス・ファンドでは、トータル・リターン・スワップ等を活用することで、主に日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国の不動産投資信託証券(リート)の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定したリターンの獲得をめざします。 基準価額の変動リスクを年率4%程度 ^② に抑えながら、中長期的に安定した運用をめざします。 ※上記数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのいずれを約束するものではありません。また、上記数値は当ファンドの長期的なリスク水準の目標を表すものであり、当ファンドが年率4%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。上記数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 1万円当たりの基準価額(過去に支払った収益分配金の金額は含みません。)が2,000円を下回った場合には、投資対象とする投資信託証券の売却を行い、一定期間後に繰上償還を行います。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 デリバティブ取引の直接利用は行いません。 外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時(原則として毎月11日。休業日の場合は翌営業日。)に、原則として以下の方針に基づき収益の分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②分配金額は、委託者がバランス・ファンドの分配金を原資として、基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。分配金は投資収益にかかわらず、委託者があらかじめ定める目標分配水準に応じて支払うことをめざします。結果として、この投資信託から分配される分配金額の一部または全部が、実質的な投資元本の払い戻しにより行われることがあります。また、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。 ※第1期(2020年5月11日)の決算は収益分配を行いません。

愛称：しあわせのしずく

第52期 <決算日 2024年 8月13日>
第53期 <決算日 2024年 9月11日>
第54期 <決算日 2024年10月11日>
第55期 <決算日 2024年11月11日>
第56期 <決算日 2024年12月11日>
第57期 <決算日 2025年 1月14日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界8資産リスク分散バランスファンド(目標払出し型)」は、2025年1月14日に第57期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			騰落率	投資利益 組入 信証比	純資産 総額
		(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 率			
第6作成期	28期(2022年8月12日)	円 8,632	円 35	% 1.3	% 97.4	百万円 4,479	
	29期(2022年9月12日)	8,486	35	△1.3	97.6	4,387	
	30期(2022年10月11日)	8,364	35	△1.0	96.1	4,298	
	31期(2022年11月11日)	8,325	35	△0.0	96.9	4,237	
	32期(2022年12月12日)	8,343	35	0.6	97.0	4,236	
	33期(2023年1月11日)	8,190	35	△1.4	97.0	4,147	
第7作成期	34期(2023年2月13日)	8,207	35	0.6	96.4	4,041	
	35期(2023年3月13日)	8,190	35	0.2	96.2	4,034	
	36期(2023年4月11日)	8,150	35	△0.1	95.8	3,990	
	37期(2023年5月11日)	8,160	35	0.6	96.8	3,948	
	38期(2023年6月12日)	8,117	35	△0.1	96.5	3,891	
	39期(2023年7月11日)	8,023	35	△0.7	97.1	3,814	
第8作成期	40期(2023年8月14日)	8,036	35	0.6	96.1	3,763	
	41期(2023年9月11日)	8,004	35	0.0	96.2	3,683	
	42期(2023年10月11日)	7,874	30	△1.2	96.1	3,569	
	43期(2023年11月13日)	7,805	30	△0.5	96.5	3,482	
	44期(2023年12月11日)	7,872	30	1.2	96.8	3,459	
	45期(2024年1月11日)	7,889	30	0.6	97.1	3,416	
第9作成期	46期(2024年2月13日)	7,845	30	△0.2	97.1	3,312	
	47期(2024年3月11日)	7,886	30	0.9	96.6	3,258	
	48期(2024年4月11日)	7,852	30	△0.1	96.4	3,175	
	49期(2024年5月13日)	7,843	30	0.3	96.5	3,140	
	50期(2024年6月11日)	7,790	30	△0.3	96.9	3,063	
	51期(2024年7月11日)	7,874	30	1.5	96.2	3,056	
第10作成期	52期(2024年8月13日)	7,632	30	△2.7	96.8	2,895	
	53期(2024年9月11日)	7,669	30	0.9	97.2	2,823	
	54期(2024年10月11日)	7,620	30	△0.2	96.8	2,784	
	55期(2024年11月11日)	7,554	30	△0.5	96.3	2,707	
	56期(2024年12月11日)	7,562	30	0.5	96.8	2,636	
	57期(2025年1月14日)	7,377	30	△2.0	97.1	2,511	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

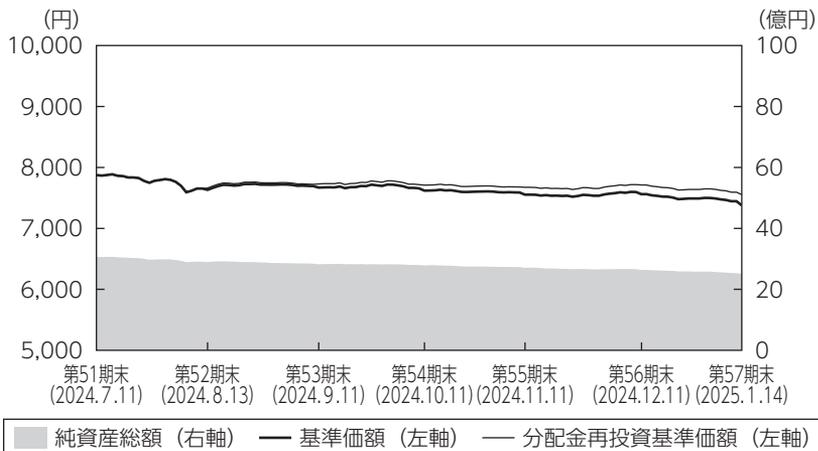
決算期	年 月 日	基準 価 額		投資信託受益証券 組 入 比 率
		騰 落 率		
第52期	(期 首) 2024 年 7 月 11 日	円	%	%
		7,874	-	96.2
	7 月 末	7,808	△0.8	96.2
第53期	(期 末) 2024 年 8 月 13 日	7,662	△2.7	96.8
	(期 首) 2024 年 8 月 13 日	7,632	-	96.8
	8 月 末	7,717	1.1	96.6
第54期	(期 末) 2024 年 9 月 11 日	7,699	0.9	97.2
	(期 首) 2024 年 9 月 11 日	7,669	-	97.2
	9 月 末	7,707	0.5	96.7
第55期	(期 末) 2024 年 10 月 11 日	7,650	△0.2	96.8
	(期 首) 2024 年 10 月 11 日	7,620	-	96.8
	10 月 末	7,603	△0.2	96.9
第56期	(期 末) 2024 年 11 月 11 日	7,584	△0.5	96.3
	(期 首) 2024 年 11 月 11 日	7,554	-	96.3
	11 月 末	7,535	△0.3	96.9
第57期	(期 末) 2024 年 12 月 11 日	7,592	0.5	96.8
	(期 首) 2024 年 12 月 11 日	7,562	-	96.8
	12 月 末	7,499	△0.8	96.1
	(期 末) 2025 年 1 月 14 日	7,407	△2.0	97.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第52期～第57期の運用経過（2024年7月12日から2025年1月14日まで）

基準価額等の推移



第52期首： 7,874円
 第57期末： 7,377円
 (既払分配金180円)
 騰落率： $\Delta 4.1\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

債券市場は、日銀の追加利上げへの警戒感などから国内金利が上昇（価格は下落）したほか、米国の利下げ観測が後退したことなどから、先進国金利は上昇しました。株式市場は、日米の政治情勢を巡る不透明感や米国の金利上昇を背景に、国内市場は下落、海外市場については国ごとにまちまちとなりました。当ファンドは、株式市場が下落したことなどから国内株式等がマイナスに影響し、基準価額は下落しました。

◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド	$\Delta 3.9\%$
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%

(注) One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの騰落率は、分配金を再投資したものとみなして計算したものです。

投資環境

債券市場は、日銀の追加利上げへの警戒感などから国内金利が上昇（価格は下落）したほか、米国の利下げ観測が後退したことなどから、先進国金利は上昇しました。株式市場は、日米の政治情勢を巡る不透明感や米国の金利上昇を背景に、国内市場は下落、海外市場については国ごとにまちまちとなりました。

為替市場では、ドル／円相場は、海外投機勢による円売りポジションの解消や、日銀の追加利上げ懸念などを背景に、前作成期末対比で円高ドル安となりました。ユーロ／円相場は、日銀の追加利上げ懸念や、ユーロ圏景況感の悪化などを背景に、前作成期末対比で円高ユーロ安となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは概ねプラス圏内で推移しました。2024年7月に日銀は政策金利を0.25%に引き上げましたが、同利回りの上昇は限定的に留まりました。当作成期末にかけては、日銀が近く追加利上げに動くとの観測が高まったことなどから上昇基調で推移しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドの組入比率は、原則として高位を維持し、D I A Mマネーマザーファンドへの投資も行いました。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

【基本配分戦略（月次）】

各投資対象に関する基本配分比率を月次で決定し、リバランスを行いました。期を通じ、安定資産へ65～75%程度、リスク性資産へ15～30%程度配分しました。

【機動的配分戦略（日次）】

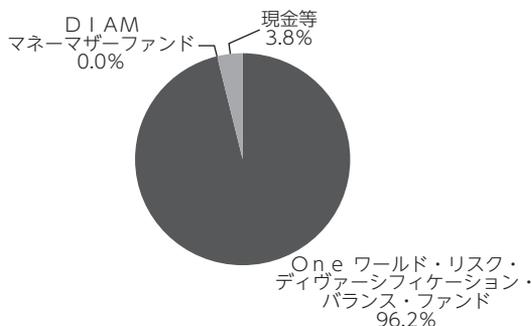
当作成期は市場が下落するリスクが高まったと判断したことから、リスク性資産については2024年8月前半や10月などに、安定資産については8月や10月、11月などに現金等の配分を高める運用を行いました。

●D I A Mマネーマザーファンド

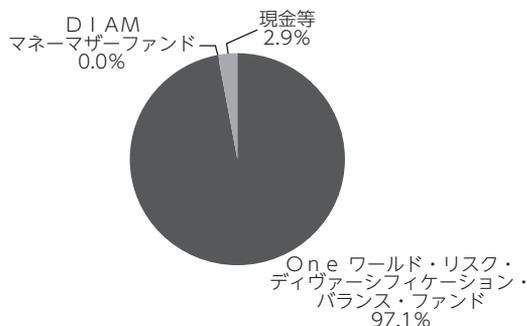
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

ポートフォリオ構成 ※比率は純資産総額に対する割合です。

前作成期末



当作成期末



分配金

収益分配金につきましては分配方針に基づき、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	2024年7月12日 ～2024年8月13日	2024年8月14日 ～2024年9月11日	2024年9月12日 ～2024年10月11日	2024年10月12日 ～2024年11月11日	2024年11月12日 ～2024年12月11日	2024年12月12日 ～2025年1月14日
当期分配金（税引前）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
対基準価額比率	0.39%	0.39%	0.39%	0.40%	0.40%	0.41%
当期の収益	30円	30円	30円	30円	30円	30円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	797円	803円	806円	809円	812円	815円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドを組入れることを基本とした運用を行い、中長期的な信託財産の成長をめざします。また、D I AMマネーマザーファンドへの投資も行います。

●One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

基本戦略である基本配分戦略（月次）および機動的配分戦略（日次）に基づき、各投資対象の組入比率を定め、安定した収益の獲得をめざします。

●D I AMマネーマザーファンド

日銀は2024年12月の金融政策決定会合で、政策金利を0.25%とする金融政策を維持しました。日銀は今後政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは緩やかなものになると想定され、金利は引き続き安定的に推移することが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第52期～第57期		項目の概要
	(2024年7月12日 ～2025年1月14日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.320%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,635円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(9)	(0.118)	
(販売会社)	(14)	(0.186)	
(受託会社)	(1)	(0.017)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	25	0.321	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

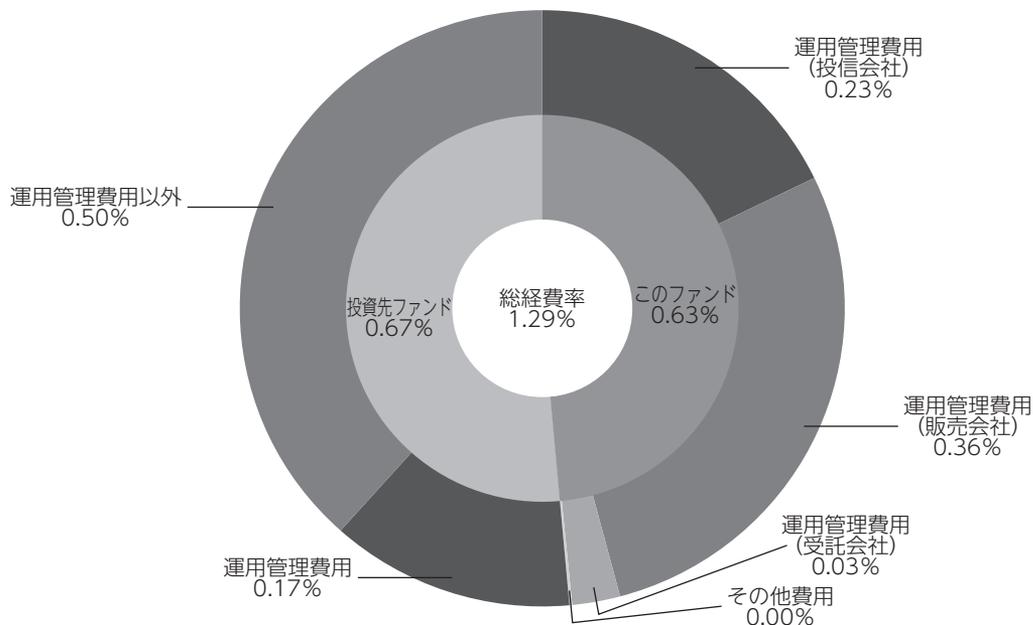
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.29%です。



総経費率 (①+②+③)	1.29%
①このファンドの費用の比率	0.63%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.17%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.50%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、投資先ファンドで行われるトータル・リターン・スワップに関連する費用は、総経費率の計算に含まれておりません。当該費用は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2024年7月12日から2025年1月14日まで）

投資信託受益証券

		第 52 期 ~ 第 57 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国 邦 建	One ワールド・リスク・ディヴァー シフィケーション・バランス・ファンド	千口 -	千円 -	千口 45.257	千円 315,000

(注) 金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2024年7月12日から2025年1月14日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2024年7月12日から2025年1月14日まで）

【世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）における利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引等はありません。

【D I AMマネーマザーファンドにおける利害関係人との取引状況等】

期中の利害関係人との取引状況

決 算 期		第 52 期 ~ 第 57 期				
区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 7,097	百万円 1,099	% 15.5	百万円 2,247	百万円 -	% -

平均保有割合 0.0%

(注) 平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■投資信託財産の構成

2025年1月14日現在

項 目	第 10 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 2,438,028	% 96.1
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド	99	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	99,926	3.9
投 資 信 託 財 産 総 額	2,538,054	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年8月13日)、(2024年9月11日)、(2024年10月11日)、(2024年11月11日)、(2024年12月11日)、(2025年1月14日)現在

項 目	第 52 期 末	第 53 期 末	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末
(A) 資 産	2,921,324,127円	2,852,121,284円	2,800,647,899円	2,733,450,349円	2,671,329,254円	2,538,054,879円
コール・ローン等	117,881,502	106,327,434	104,896,312	97,531,635	118,927,219	99,926,716
投資信託受益証券(評価額)	2,803,342,971	2,745,694,186	2,695,651,904	2,606,819,031	2,552,302,362	2,438,028,480
D I A M マ ネ ー マ ー フ ァ ン ド(評価額)	99,654	99,664	99,683	99,683	99,673	99,683
未 収 入 金	-	-	-	29,000,000	-	-
(B) 負 債	25,404,667	28,784,952	16,398,368	25,900,271	34,557,280	27,021,564
未払収益分配金	11,383,469	11,044,141	10,961,430	10,752,253	10,460,886	10,210,915
未払解約金	12,318,244	16,298,899	3,975,182	13,673,526	22,712,851	15,293,749
未払信託報酬	1,695,033	1,435,204	1,454,957	1,467,628	1,377,106	1,509,848
その他未払費用	7,921	6,708	6,799	6,864	6,437	7,052
(C) 純資産総額(A-B)	2,895,919,460	2,823,336,332	2,784,249,531	2,707,550,078	2,636,771,974	2,511,033,315
元 本	3,794,489,984	3,681,380,583	3,653,810,153	3,584,084,542	3,486,962,193	3,403,638,538
次期繰越損益金	△898,570,524	△858,044,251	△869,560,622	△876,534,464	△850,190,219	△892,605,223
(D) 受 益 権 総 口 数	3,794,489,984□	3,681,380,583□	3,653,810,153□	3,584,084,542□	3,486,962,193□	3,403,638,538□
1万口当たり基準価額(C/D)	7,632円	7,669円	7,620円	7,554円	7,562円	7,377円

(注) 第51期末における元本額は3,882,449,365円、当作成期間(第52期～第57期)中における追加設定元本額は62,308,828円、同解約元本額は541,119,655円です。

■損益の状況

〔自 2024年7月12日 至 2024年8月13日〕〔自 2024年8月14日 至 2024年9月11日〕〔自 2024年9月12日 至 2024年10月11日〕〔自 2024年10月12日 至 2024年11月11日〕〔自 2024年11月12日 至 2024年12月11日〕〔自 2024年12月12日 至 2025年1月14日〕

項 目	第 52 期	第 53 期	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期
(A) 配 当 等 収 益	14,038,876円	13,674,174円	13,571,718円	13,355,231円	12,882,955円	12,660,014円
受 取 配 当 金	14,025,455	13,655,255	13,553,948	13,336,456	12,863,991	12,638,905
受 取 利 息	13,421	18,919	17,770	18,775	18,964	21,109
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△92,621,502	12,541,737	△19,095,299	△24,693,899	1,550,846	△63,658,161
売 買 益	993,997	13,346,469	13,388	165,666	1,632,389	601,466
売 買 損	△93,615,499	△804,732	△19,108,687	△24,859,565	△81,543	△64,259,627
(C) 信 託 報 酬 等	△1,702,954	△1,441,912	△1,461,756	△1,474,492	△1,383,543	△1,516,900
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△80,285,580	24,773,999	△6,985,337	△12,813,160	13,050,258	△52,515,047
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△781,267,633	△844,781,514	△822,616,924	△822,228,211	△819,573,526	△795,637,838
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△25,633,842	△26,992,595	△28,996,931	△30,740,840	△33,206,065	△34,241,423
(配 当 等 相 当 額)	(118,349,656)	(115,273,602)	(114,893,333)	(113,191,861)	(110,819,595)	(108,557,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△143,983,498)	(△142,266,197)	(△143,890,264)	(△143,932,701)	(△144,025,660)	(△142,798,523)
(G) 合 計 (D + E + F)	△887,187,055	△847,000,110	△858,599,192	△865,782,211	△839,729,333	△882,394,308
(H) 収 益 分 配 金	△11,383,469	△11,044,141	△10,961,430	△10,752,253	△10,460,886	△10,210,915
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△898,570,524	△858,044,251	△869,560,622	△876,534,464	△850,190,219	△892,605,223
追 加 信 託 差 損 益 金	△25,633,842	△26,992,595	△28,996,931	△30,740,840	△33,206,065	△34,241,423
(配 当 等 相 当 額)	(118,349,656)	(115,273,602)	(114,893,333)	(113,191,861)	(110,819,595)	(108,557,100)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△143,983,498)	(△142,266,197)	(△143,890,264)	(△143,932,701)	(△144,025,660)	(△142,798,523)
分 配 準 備 積 立 金	184,445,837	180,374,771	179,692,598	176,901,400	172,604,481	169,026,858
繰 越 損 益 金	△1,057,382,519	△1,011,426,427	△1,020,256,289	△1,022,695,024	△989,588,635	△1,027,390,658

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 52 期	第 53 期	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期
(a) 経費控除後の配当等収益	12,335,923円	12,922,076円	12,109,966円	11,880,748円	11,648,012円	11,143,133円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	118,349,656	115,273,602	114,893,333	113,191,861	110,819,595	108,557,100
(d) 分 配 準 備 積 立 金	183,493,383	178,496,836	178,544,062	175,772,905	171,417,355	168,094,640
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	314,178,962	306,692,514	305,547,361	300,845,514	293,884,962	287,794,873
(f) 1万口当たり当期分配対象額	827.99	833.09	836.24	839.39	842.81	845.55
(g) 分 配 金	11,383,469	11,044,141	10,961,430	10,752,253	10,460,886	10,210,915
(h) 1万口当たり分配金	30	30	30	30	30	30

■分配金のお知らせ

決算期	第 52 期	第 53 期	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期
1 万口当たり分配金	30円	30円	30円	30円	30円	30円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンド

当ファンドは「世界8資産リスク分散バランスファンド（目標払出し型）」が投資対象とする外国投資信託です。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン籍外国投資信託／円建受益証券
主 要 投 資 対 象	<ul style="list-style-type: none"> ・実質的な投資対象は、日本、先進国、新興国の株式・債券、日本、先進国のリートなどです。 ・トータル・リターン・スワップを通じて、実質的に有価証券先物取引、ETF等に投資を行います。 ・有価証券先物取引やETFへの直接投資を行う場合があります。
投 資 態 度	<p>①トータル・リターン・スワップ等を活用することで、国内外の8資産に分散投資を行い、中長期的に安定的なリターンの獲得をめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本配分戦略に基づき、統計的手法を用いて、資産配分に影響を与える「変動要因」の偏りをなくすように、投資対象資産の基本配分比率および通貨配分比率を決定します。 <p>②基本配分戦略による「変動要因」の分散に加えて、機動的配分戦略に基づき相場環境の変化を判定し、組入資産を安定資産や現金等に入れ替えることで基準価額の下落の抑制をめざします。</p> <p>③基準価額の変動リスクを年率4%程度に抑えます。</p>
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・信託財産の純資産総額の10%を超える借入は行いません。 ・流動性に欠ける資産への投資は純資産総額の15%を超えないものとします。
投 資 顧 問 会 社	アセットマネジメントOne株式会社
受 託 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド
管 理 事 務 代 行 会 社	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー
保 管 銀 行	ブラウン・ブラザーズ・ハリマン・アンド・カンパニー

One ワールド・リスク・ディヴァーシフィケーション・バランス・ファンドはケイマン籍外国投資信託で、2023年12月29日に会計期間が終了し、現地の公認会計士による財務諸表監査を受けて完了しています。以下は、2023年12月29日現在の財務諸表の原文の一部翻訳・抜粋したものです。

損益計算書
2023年12月29日に終了した年度

	日本円
投資収益	
投資収益合計	-
費用	
支払利息	6,921,561
会計処理・管理事務手数料	6,322,271
投資運用報酬	4,428,989
専門家報酬	1,804,022
保管手数料	1,741,375
信託報酬	1,655,774
証券代 hands 手数料	1,468,575
登録手数料	855,980
費用合計	25,198,547
投資純損失	(25,198,547)
実現および未実現利益（損失）：	
実現純利益（損失）：	
投資有価証券	55,394
スワップ契約	28,816,603
外貨建取引	7,732
実現純利益	28,879,729
未実現評価益（損）の純変動：	
スワップ契約	97,492,798
外貨建取引	2,652
未実現評価益の純変動	97,495,450
実現および未実現純利益	126,375,179
運用による純資産の純増額	101,176,632

投資有価証券明細
2023年12月29日現在

元本金額	証券銘柄	公正価値 日本円
	短期金融商品 (89.8%)	
	日本 (89.8%)	
	国債 (89.8%)	
3,000,000,000	Japan Treasury Discount Bill (0.15)% due 03/21/24 ^(a)	3,000,958,373
		<u>3,000,958,373</u>
	日本合計 (取得原価¥3,000,958,373)	3,000,958,373
	短期金融商品合計 (取得原価¥3,000,958,373)	3,000,958,373
	投資有価証券合計 (取得原価¥3,000,958,373)	3,000,958,373
		89.8%
	現金およびその他資産の負債超過額	10.2%
	純資産	<u>340,795,049</u>
		<u>100.0%</u>
		<u>3,341,753,422</u>

(a) ゼロ・クーポン債です。レートは最終利回りを表しています。

店頭トータル・リターン・スワップ残高 2023年12月29日現在 (純資産比率0.67%)

通貨	契約先	想定元本	支払/受取	満期日	プレミアム	未実現評価益	公正価値
					支払/(受取)	/(損)	
					日本円	日本円	日本円
JPY	Credit Suisse International	33,700	One World Risk-Diversification Balance Master Strategy ^(b)	03/16/2026	3	22,511,597	22,511,600
					<u>3</u>	<u>22,511,597</u>	<u>22,511,600</u>

(b) 上記のバスケット銘柄は、上場投資信託とデリバティブ契約で構成されています。

デリバティブ商品の評価額

潜在的なネットイング契約を含むファンドのデリバティブ・ポジションの要約は下表の通りです。

店頭デリバティブ商品	契約先	デリバティブ	デリバティブ	(受入) / 差入	純額**
		資産額	負債額	担保金*	
		日本円	日本円	日本円	日本円
トータル・リターン・スワップ	Credit Suisse International	22,511,597	-	(18,000,000)	4,511,597
合計		<u>22,511,597</u>	-	<u>(18,000,000)</u>	<u>4,511,597</u>

* 実際に受領した、または差し入れた担保がある場合、その額は上記の表に記載されている額を超えることがあります。

** 純額は、債務不履行が生じた場合に支払期限となる、契約先に対する受取債権または支払債務の額を示しています。ネットイングは、同一の法的主体と同一の法的契約に基づいて交わされる取引間で許可されています。

通貨略語：

JPY - 日本円

D I A Mマネーマザーファンド

運用報告書

第15期 (決算日 2024年4月5日)

(計算期間 2023年4月6日～2024年4月5日)

D I A Mマネーマザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月29日から無期限です。
運用方針	安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建て資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券 組入比率	新株予約権 付社債 (転換社債)	債券 先物比率	純資産 総額
	円	騰落率				
11期(2020年4月6日)	10,089	△0.1	69.3	—	—	百万円 1,139
12期(2021年4月5日)	10,080	△0.1	62.4	—	—	1,064
13期(2022年4月5日)	10,071	△0.1	76.3	—	—	1,192
14期(2023年4月5日)	10,063	△0.1	71.8	—	—	1,253
15期(2024年4月5日)	10,055	△0.1	62.0	—	—	483

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

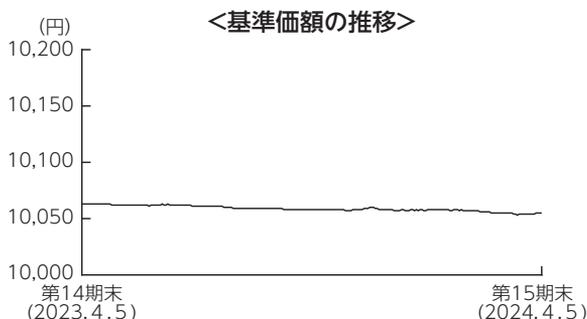
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 組 入 比	券 率	新 株 予 約 権 付 社 債 (転 換 社 債) 組 入 比 率	債 先 物 比	券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2023年 4 月 5 日	10,063	% -		% 71.8		% -	% -
4 月 末	10,062	△0.0		71.8		-	-
5 月 末	10,062	△0.0		61.6		-	-
6 月 末	10,061	△0.0		61.6		-	-
7 月 末	10,060	△0.0		61.6		-	-
8 月 末	10,059	△0.0		61.6		-	-
9 月 末	10,058	△0.0		61.6		-	-
10 月 末	10,057	△0.1		61.6		-	-
11 月 末	10,058	△0.0		61.6		-	-
12 月 末	10,057	△0.1		60.2		-	-
2024年 1 月 末	10,057	△0.1		60.2		-	-
2 月 末	10,055	△0.1		60.1		-	-
3 月 末	10,054	△0.1		62.0		-	-
(期 末) 2024年 4 月 5 日	10,055	△0.1		62.0		-	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2023年4月6日から2024年4月5日まで）



基準価額の推移

当期末の基準価額は10,055円となり、前期末比で0.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてわが国の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざした運用を行いました。日銀のマイナス金利政策の影響が大きく、基準価額は前期末比で下落して期末を迎えました。

投資環境

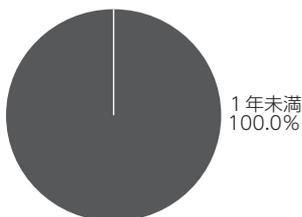
国内短期金融市場では、3ヵ月物国庫短期証券利回りは、日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、当期末にかけては、マイナス金利政策の解除を受けて上昇の動きとなり、利回りはプラス水準に転じる局面がありました。

ポートフォリオについて

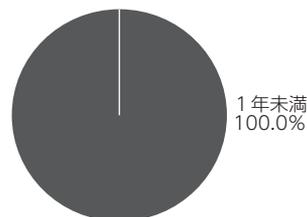
残存期間の短い国債などで運用を行いました。

【運用状況】 ※比率は組入債券の時価評価額に対する割合です。

○残存年限別構成比 期首（前期末）



当期末



今後の運用方針

日銀は2024年3月の金融政策決定会合で、マイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策の解除を決定しました。声明文で日銀は「現時点の経済・物価見通しを前提にすれば、当面、緩和的な金融環境が継続すると考えている。」としており、今後はプラス圏ながらも金利は低位で推移するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用をめざします。

■ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■ 売買及び取引の状況 (2023年4月6日から2024年4月5日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	500,341	600,273 (500,000)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2023年4月6日から2024年4月5日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期 区分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公社債	百万円 500	百万円 200	% 40.0	百万円 600	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	300,000	299,992	62.0	—	—	—	62.0
合 計	300,000	299,992	62.0	—	—	—	62.0

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
(国債証券)	%	千円	千円	
4 4 0 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	100,006	2024/09/01
4 4 1 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	100,004	2024/10/01
4 4 6 回 利付国庫債券（2年）	0.0050	100,000	99,982	2025/03/01
合 計	—	300,000	299,992	—

■投資信託財産の構成

2024年4月5日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	299,992	62.0	299,992	62.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	183,876	38.0	183,876	38.0
投 資 信 託 財 産 総 額	483,868	100.0	483,868	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2024年4月5日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	483,868,290円
コ ー ル ・ 口 ー ン 産 等	183,875,306
公 社 債(評価額)	299,992,000
未 収 利 息	546
前 払 費 用	438
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	483,868,290
元 本	481,233,562
次 期 繰 越 損 益 金	2,634,728
(D) 受 益 権 総 口 数	481,233,562口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C/D)	10,055円

(注1) 期首元本額	1,245,658,613円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジなし)	109,063円
追加設定元本額	13,726,863円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジあり)	297,442円
一部解約元本額	778,151,914円	モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (年1回決算型) (為替ヘッジなし)	118,977円
(注2) 期末における元本の内訳		ファンドスミス・グローバル・エクイティ・ファンド	99,255,584円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし)	15,843,407円	PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジあり)	301,134円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり)	13,867,169円	PIMCOストラテジック・インカム・ファンド (為替ヘッジなし)	1,493,740円
バンクローン・ファンド (ヘッジなし/年1回決算型)	1,088,285円	One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (成長型)	9,943,324円
バンクローン・ファンド (ヘッジあり/年1回決算型)	98,095円	One/フィデリティ・ブルーチップ・グロース株式ファンド (毎月決算・予想分配金提示型)	1,988,665円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド10月号	3,959,763円	期末元本合計	481,233,562円
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド11月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド12月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド1月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド2月号	48,517円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド3月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド4月号	11,377円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド5月号	98,027円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド6月号	989,197円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド7月号	395,083円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド8月号	494,102円		
新光ビムコ・ストラテジック・インカム・ファンド9月号	494,102円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジあり>	791,316円		
ダブルライン・シラー・ケープ米国株式プラス<為替ヘッジなし>	2,474,972円		
グルーズコントロール	294,245,101円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<円コース>	870,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<豪ドルコース>	530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース>	70,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<ブラジルレアルコース>	10,530,000円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<中国元コース>	149,716円		
DIAM新興国ソブリンオープン通貨選択シリーズ<米ドルコース>	5,972円		
USストラテジック・インカム・ファンドAコース (為替ヘッジあり)	993,740円		
USストラテジック・インカム・ファンドBコース (為替ヘッジなし)	1,987,479円		
DIAM-ジャナス グローバル債券コアプラス・ファンド<DC年金>	9,935円		
マッシュューズ・アジア株式ファンド	14,723,185円		
One世界分散セレクト (Aコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Bコース)	99,040円		
One世界分散セレクト (Cコース)	99,040円		
世界8資産リスク分散バランスファンド (目標払出し型)	99,109円		
モルガン・スタンレーUSハイイールド債券ファンド (毎月決算型) (為替ヘッジあり)	188,380円		

■損益の状況

当期 自2023年4月6日 至2024年4月5日

項	目	当	期					
(A) 配	当	等	収	益	△54,712円			
受			利	息	26,392			
支	取		利	息	△81,104			
	払							
(B) 有	価	証	券	売	買	損	益	△502,000
売				買			益	14,000
売				買			損	△516,000
(C) 当	期	損	益	金(A+B)	△556,712			
(D) 前	期	繰	越	損	益	金	7,856,815	
(E) 解	約	差	損	益	金	△4,744,512		
(F) 追	加	信	託	差	損	益	金	79,137
(G) 合				計(C+D+E+F)	2,634,728			
次	期	繰	越	損	益	金(G)	2,634,728	

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。